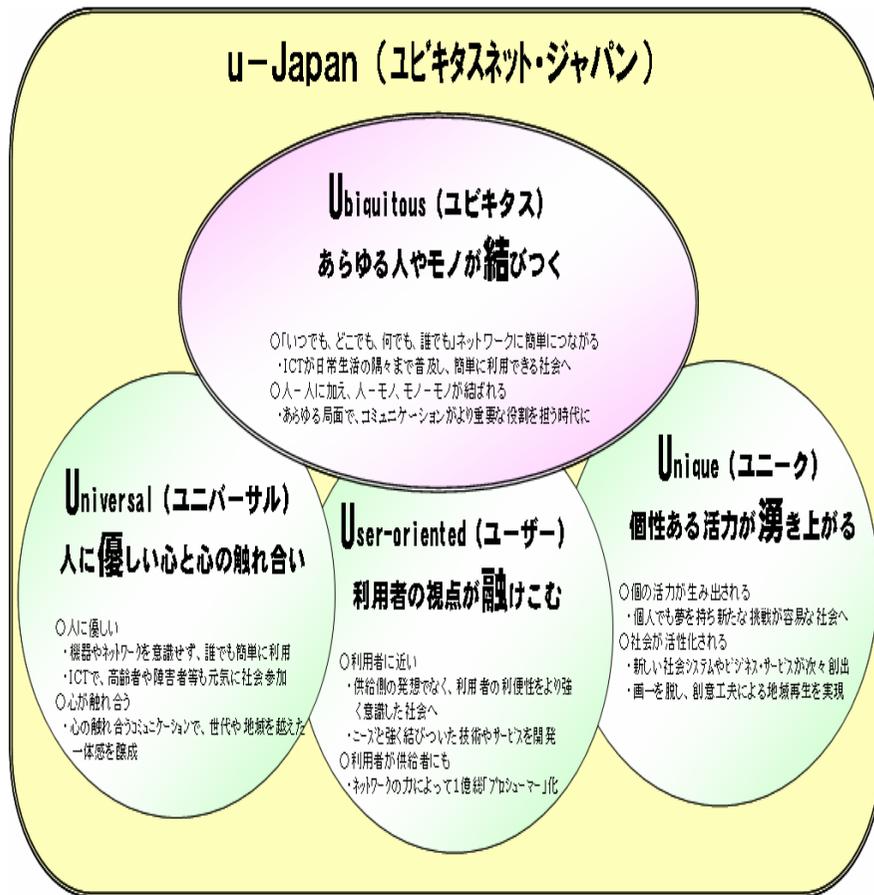


I 国民・企業のユビキタスネットワーク利用

1 u-Japan

◆ u-Japanとは、社会の様々な課題がICTによって解決された後の2010年の我が国の姿。その理念は「ユビキタス」「ユニバーサル」「ユーザー中心」「ユニーク」の4つだが、中心は「ユビキタス」。「人とモノ」、「モノとモノ」とのコミュニケーションが特徴

図表① u-Japanの理念



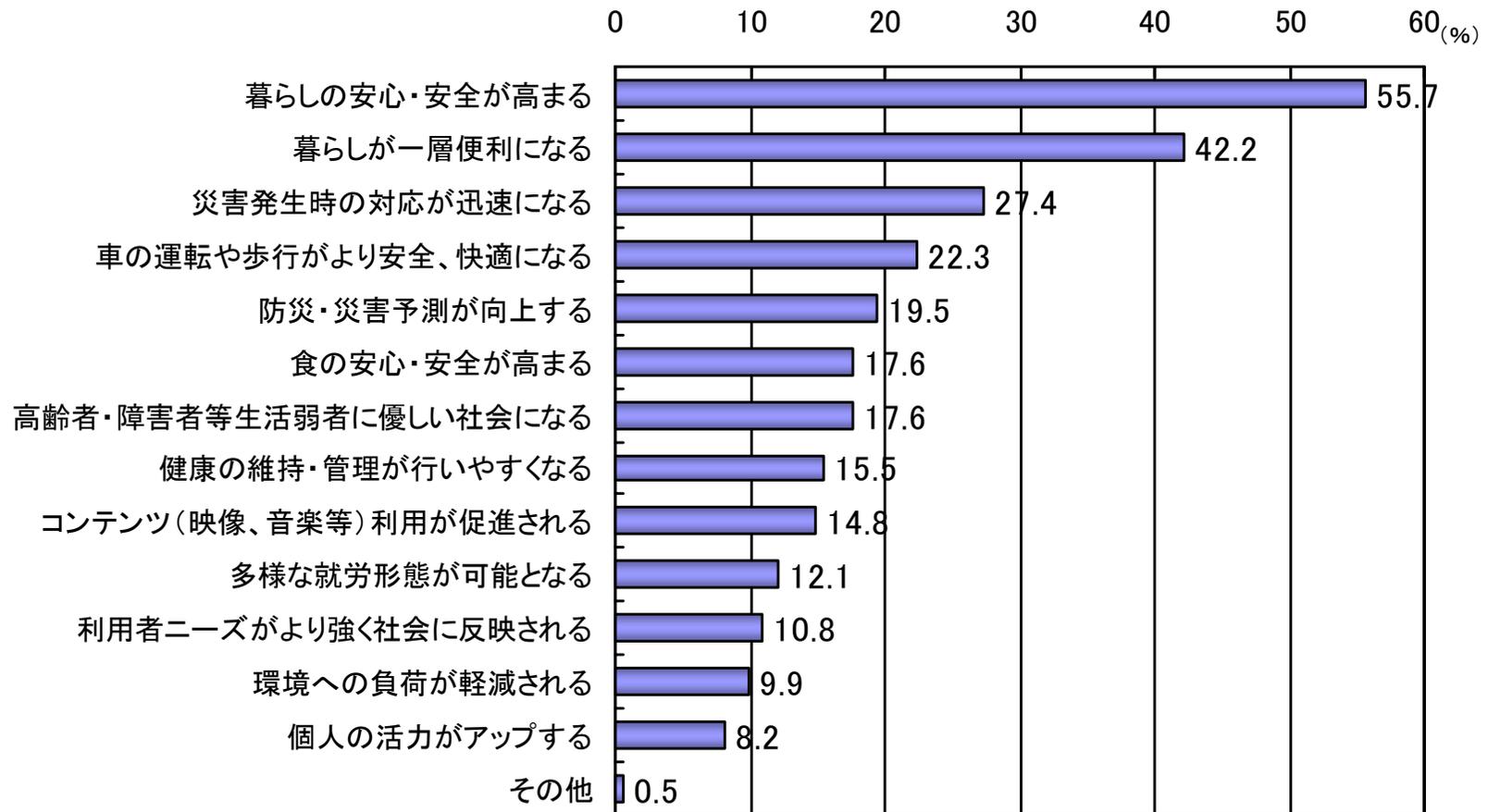
図表② u-Japanのイメージ



2 国民のユビキタスネットワークへの期待

◆ ユビキタスネットワークの有する様々な効果のうち、国民は特に「安心・安全」に期待

図表 ユビキタスネットワークへ期待する効果(複数回答)

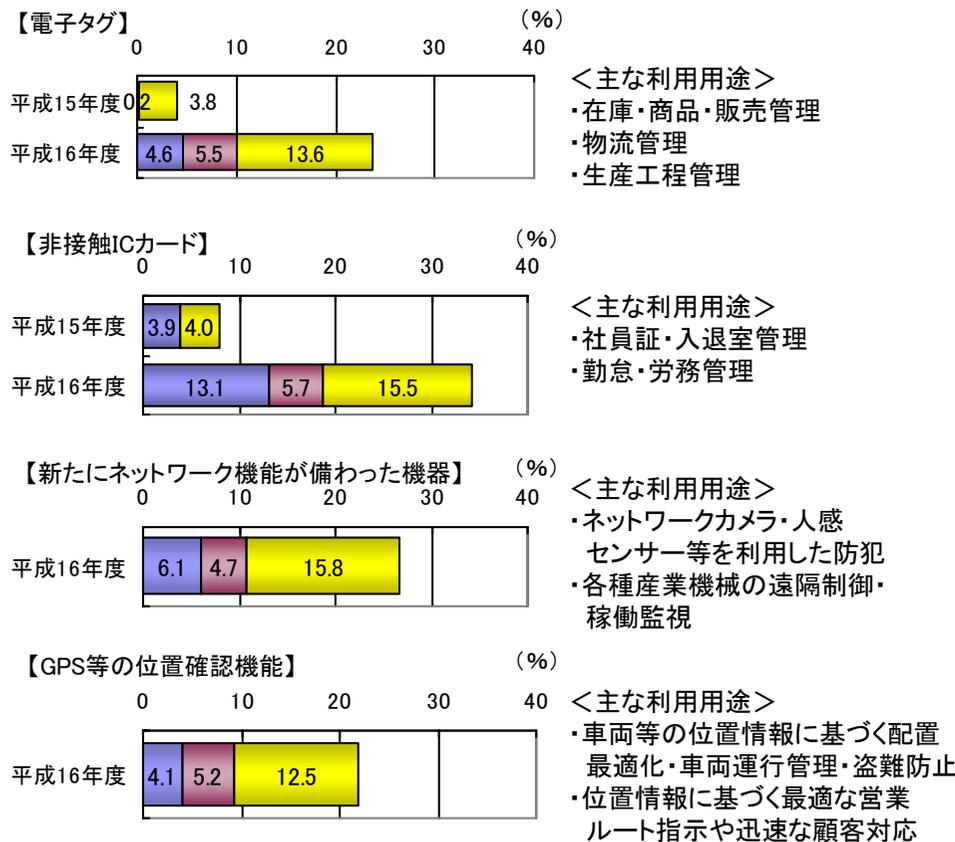


(出典)「ユビキタス社会の動向に関する調査」(ウェブ調査)

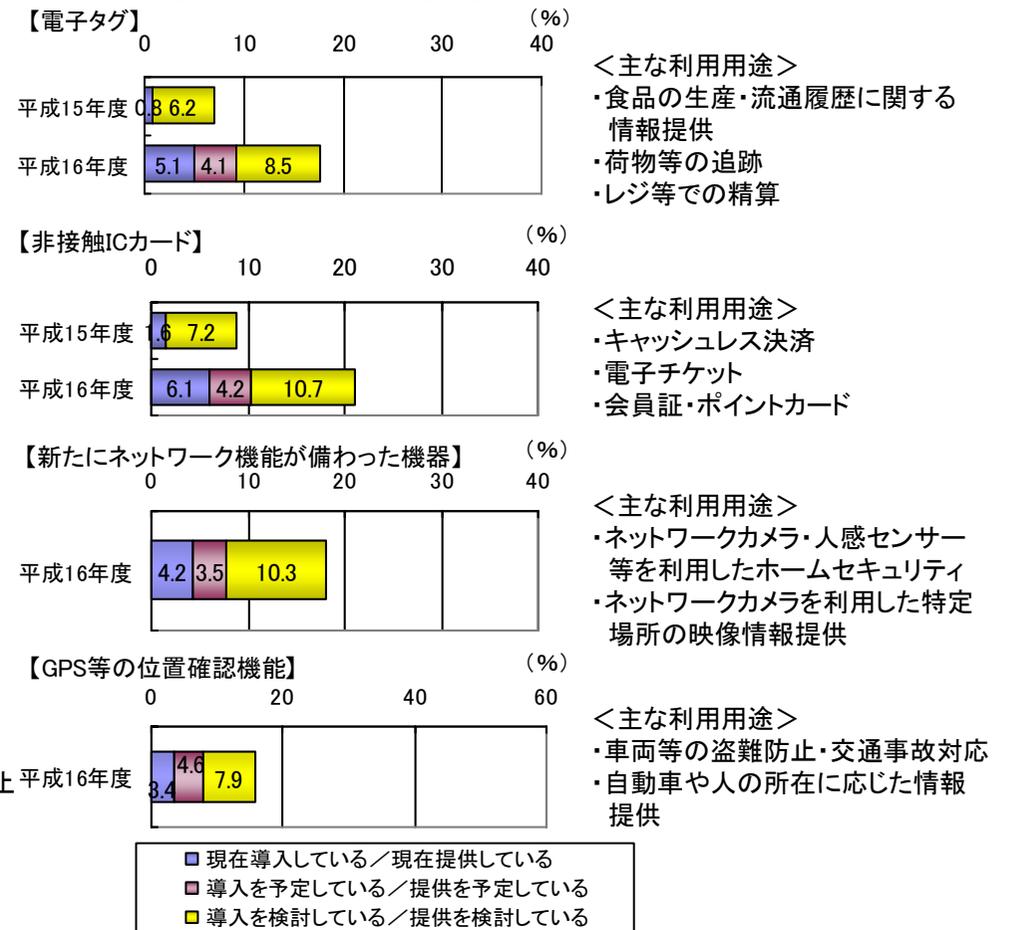
3-1 企業のユビキタスネットワークの利用動向（国内）

◆ この1年で企業の電子タグ、非接触ICカード、新たにネットワーク機能が備わった機器等(ユビキタスツール)の利用は大きく進展

図表① 企業内／企業間業務におけるユビキタスツールの導入状況



図表② ユビキタスツールを利用した一般消費者向け商品／サービスの提供状況

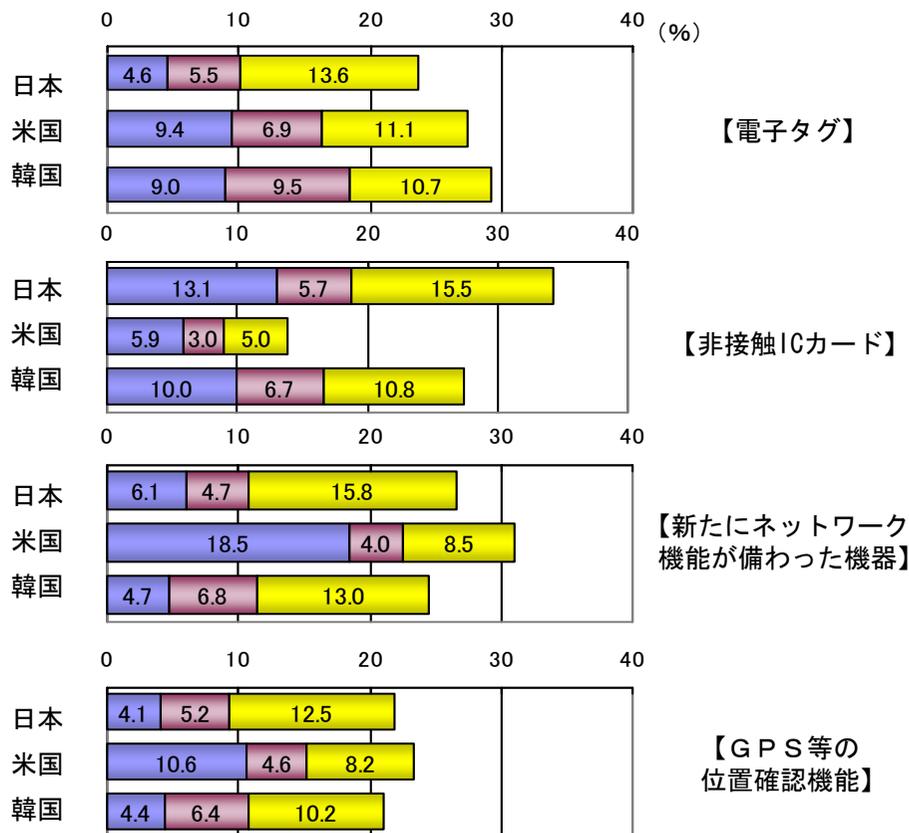


(出典)「企業のICT活用現状調査」(ウェブ調査)

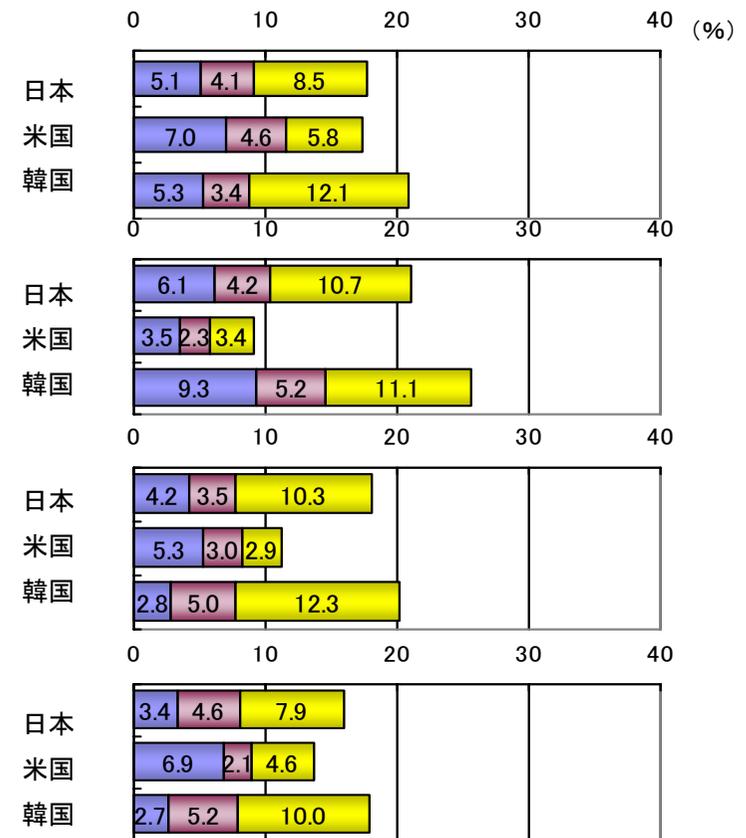
3-2 企業のユビキタスネットワークの利用動向（日米韓比較）

- ◆ 米国、韓国の企業もユビキタスツールの導入に取り組み。企業内／企業間業務では、日本は「非接触ICカード」、米国は「新たにネットワーク機能が備わった機器」、韓国は「電子タグ」が、一般消費者向け商品／サービスでは、日韓は「非接触ICカード」、米国は「電子タグ」が進んでいる

図表① 企業内／企業間業務におけるユビキタスツールの導入状況



図表② ユビキタスツールを利用した一般消費者向け商品／サービスの提供状況



■ 現在導入している／現在提供している
 ■ 導入を予定している／提供を予定している
 ■ 導入を検討している／提供を検討している

(出典) 「企業のICT活用現状調査」(ウェブ調査)

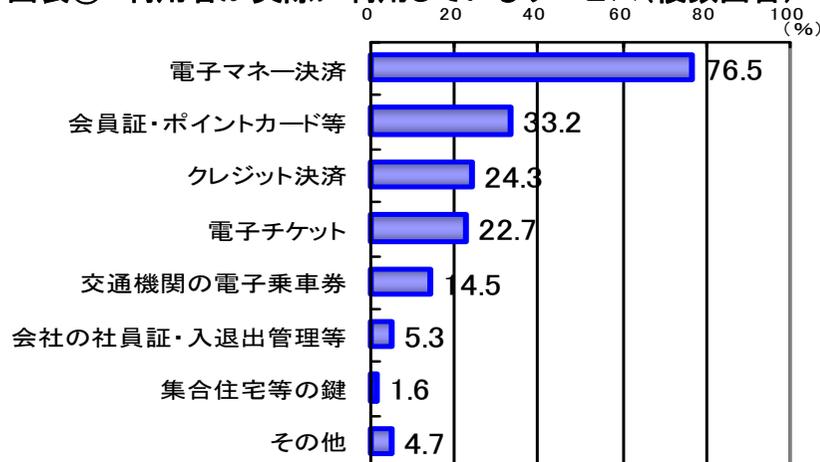
4-1 ユビキタスネットワークの活用事例（非接触ICカード機能搭載携帯電話）

- ◆ 非接触ICカード機能搭載携帯電話の利用者(379人)が実際に利用しているサービスは電子マネー決済が最も多い。サービスの満足度や利用継続意向は高く、当該サービスは今後社会に普及するとの認識

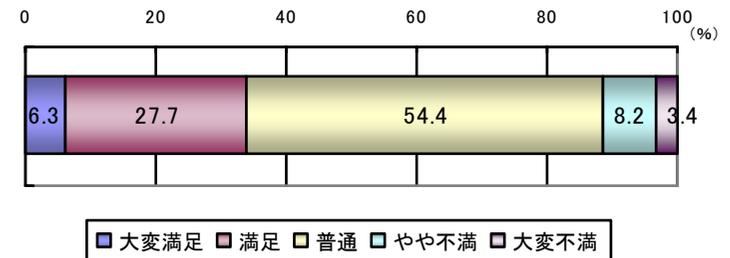
図表① サービス利用イメージ



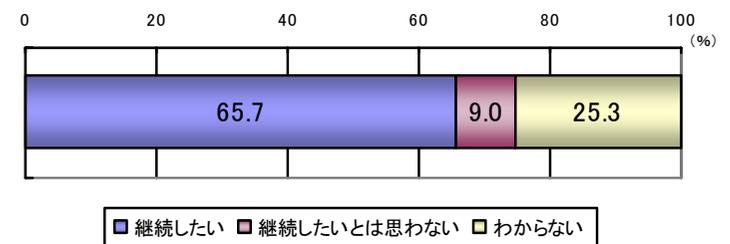
図表② 利用者が実際に利用しているサービス(複数回答)



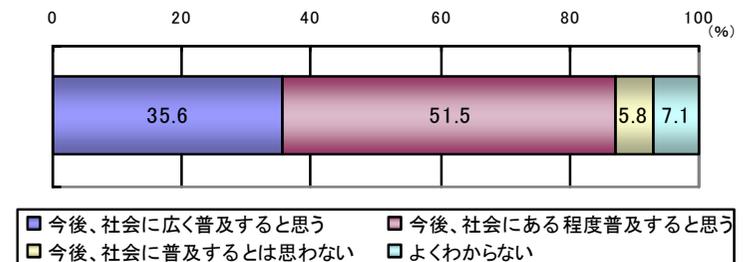
図表③ 利用者のサービスについての満足度



図表④ 利用者のサービスについての利用継続意向



図表⑤ サービスの今後の社会への普及について



(出典)「ユビキタス社会の動向に関する調査」(ウェブ調査)

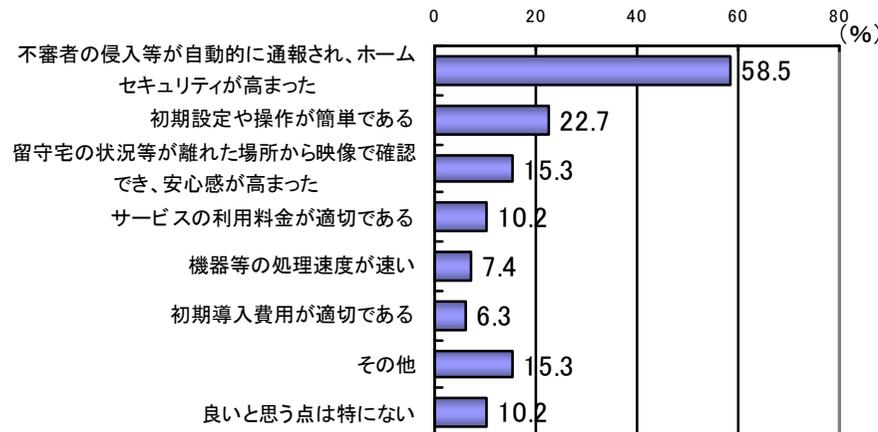
4-2 ユビキタスネットワークの活用事例（ホームセキュリティサービス）

- ◆ ホームセキュリティサービス(ネットワークカメラ、センサー等により、不審者の侵入等を探知して通報したり、自宅内の映像等を離れた場所から確認できるサービス)の利用者(176人)の満足度や利用継続意向は高く、当該サービスは今後社会に普及するとの認識

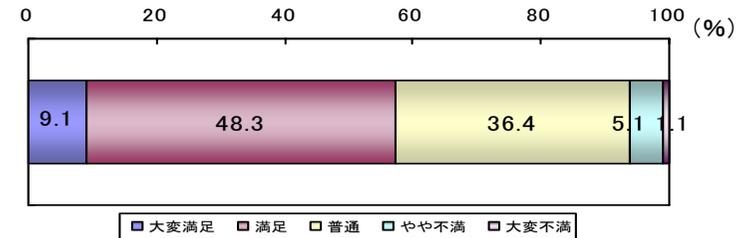
図表① サービス利用イメージ



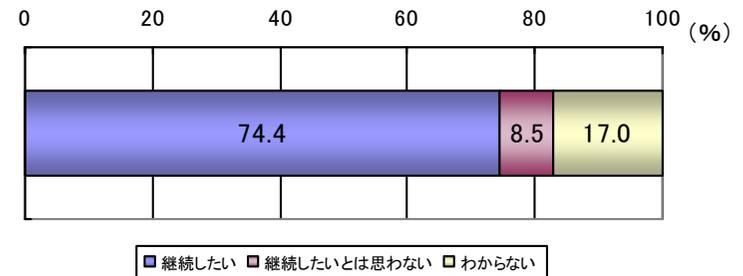
図表② 利用者による利用上の利点(複数回答)



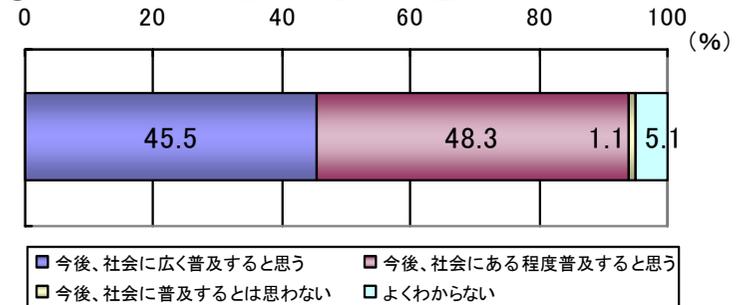
図表③ 利用者のサービスについての満足度



図表④ 利用者のサービスについての利用継続意向



図表⑤ サービスの今後の社会への普及について



(出典)「ユビキタス社会の動向に関する調査」(ウェブ調査)

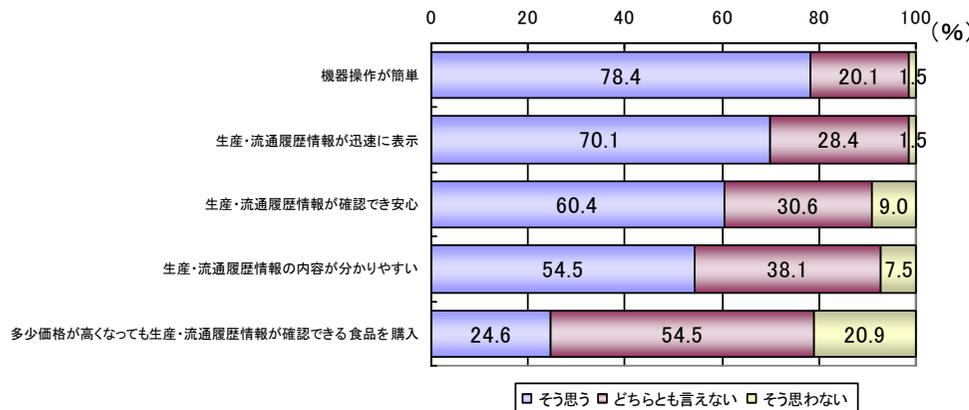
4-3 ユビキタスネットワークの活用事例（電子タグを利用したサービス）

- ◆ 電子タグを利用した食品のトレーサビリティの体験者(134人)の評価、満足度、利用意向は高く、今後社会に普及するとの認識。「多少価格が高くなっても生産・流通履歴情報が確認できる食品を購入」すると思う人は24.6%、そう思わない人は20.9%

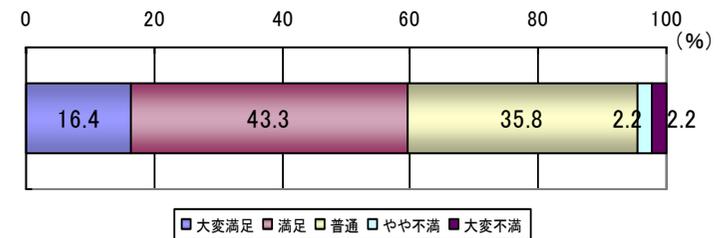
図表① サービス利用イメージ



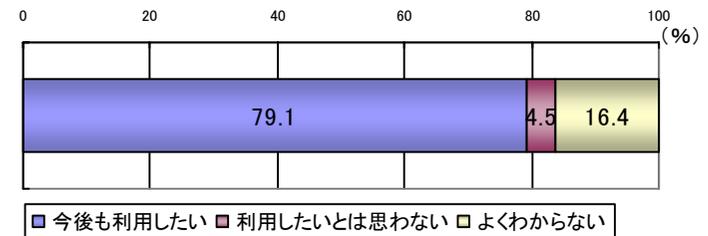
図表② 利用者によるサービスの評価



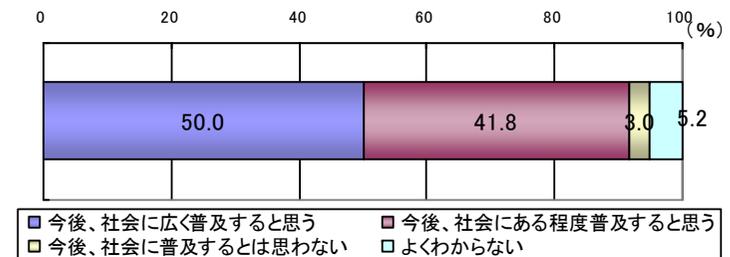
図表③ 利用者のサービスについての満足度



図表④ サービスの今後の利用意向



図表⑤ サービスの今後の社会への普及について



(出典)「ユビキタス社会の動向に関する調査」(ウェブ調査)

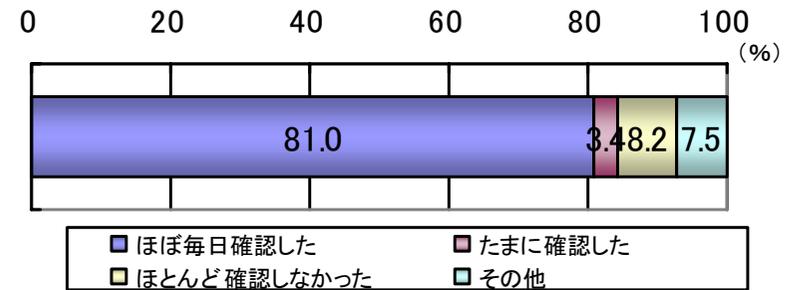
4-4 ユビキタスネットワークの活用事例（就学児童の安全確保のための電子タグの利活用）

- ◆ 総務省近畿総合通信局では、和歌山県の小学校の協力を得て、電子タグによる登下校時間の記録及び電子メールによる保護者への通知等を実証実験(平成16年10月25日～11月5日)を実施。実験終了後の参加者へのアンケート調査では、取組全体を通して安心が高まったとする人が大半

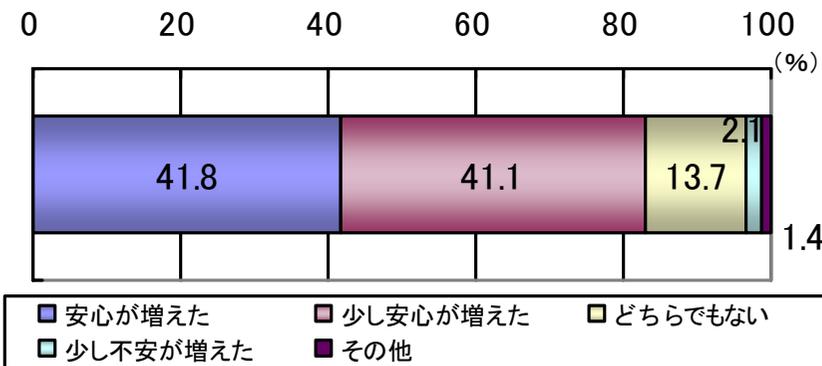
図表① 実証実験の概要



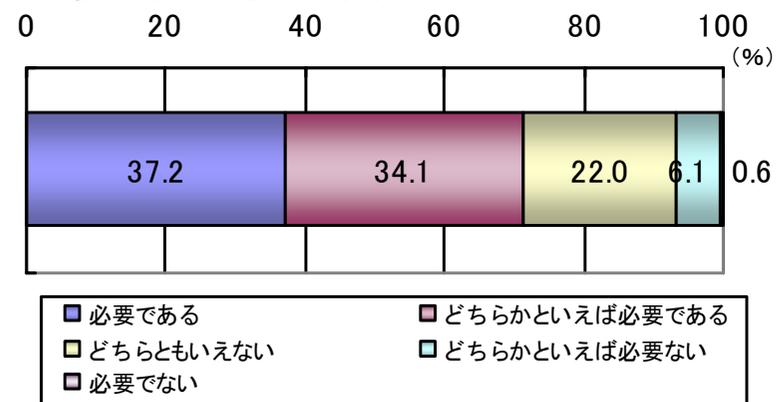
図表② 登下校通知の確認頻度



図表③ 取組全体の印象



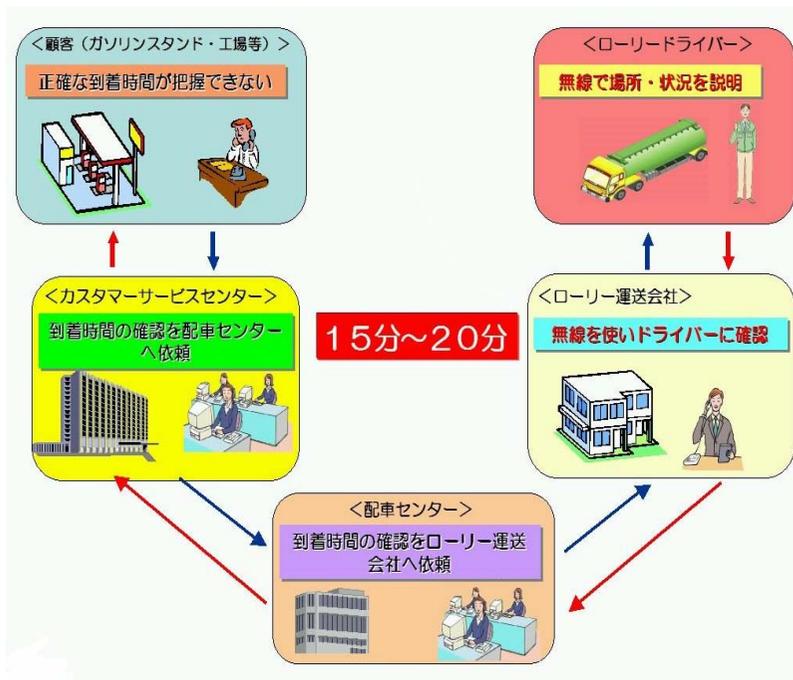
図表④ 取組の今後の必要性



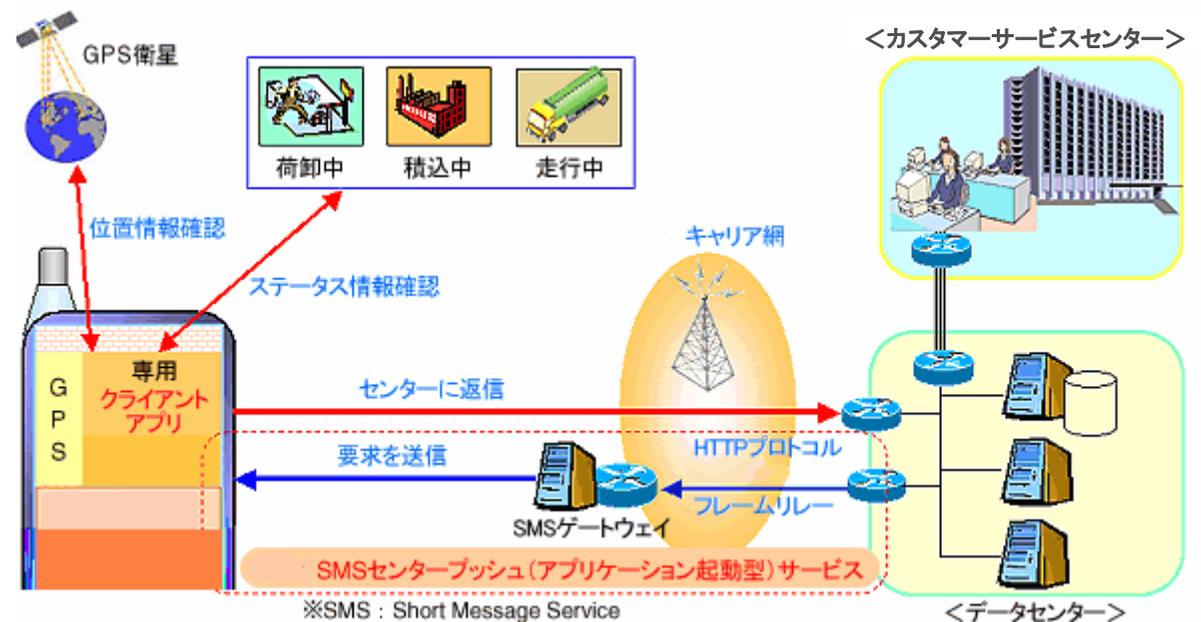
4-5 ユビキタスネットワークの活用事例（車両管理のためのGPS機能の利活用）

- ◆ 石油製品を扱う某社は、ガソリンスタンドからのタンクローリー到着時間に関する問い合わせへの対応業務の効率化、返答時間の短縮等を目的にGPS機能付携帯電話の位置確認機能を利用したシステムを構築。システム構築後は問い合わせ対応時間が15～20分程度から3～4分程度に短縮

図表① システム構築前の業務フロー



図表② システムの概要

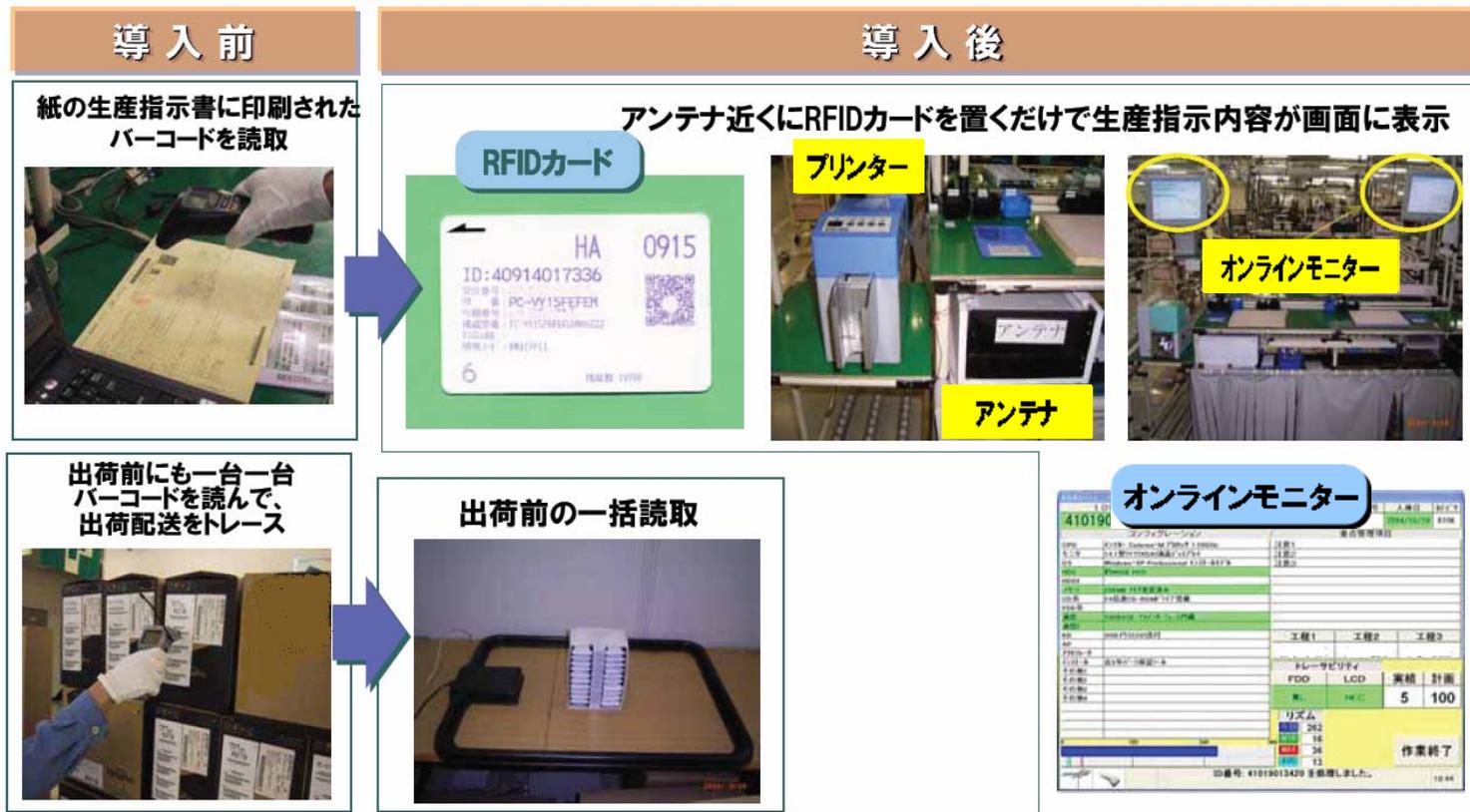


(出典) 当企業資料

4-6 ユビキタスネットワークの活用事例（生産管理のための非接触ICカードの利活用）

- ◆ パソコン生産を行う某工場では、従来のバーコードが印刷された紙の生産指示書（1台のPCに1枚）から非接触ICカードを利用したシステムへ変更することにより、生産指示書の内容確認の容易化、バーコード読取作業の削減等を図り、生産性を10%以上向上

図表

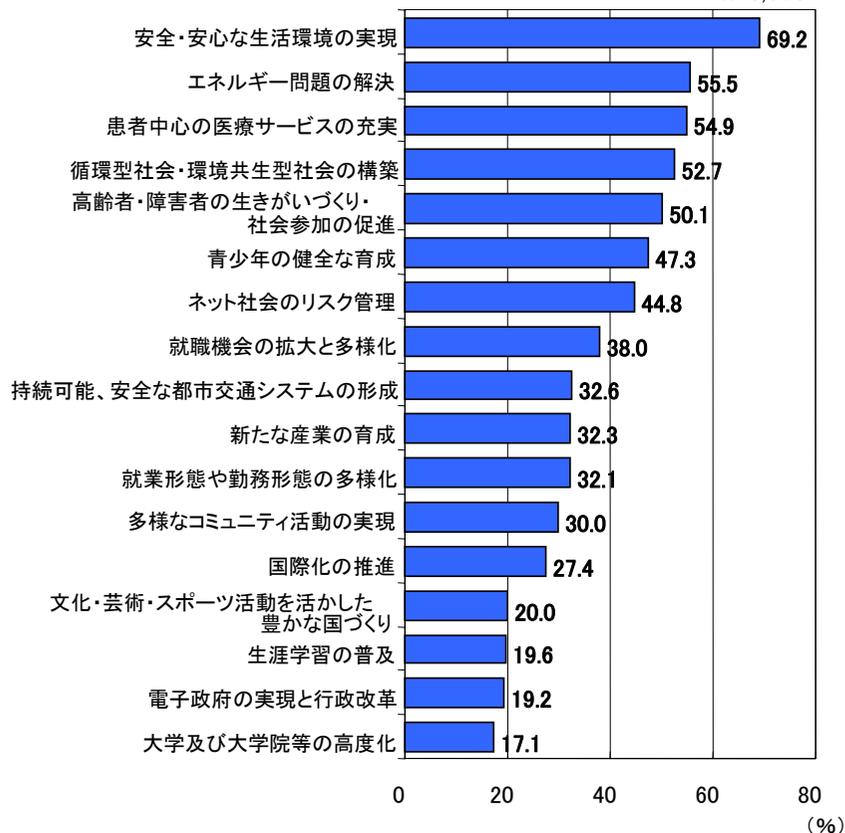


(出典) 当企業資料

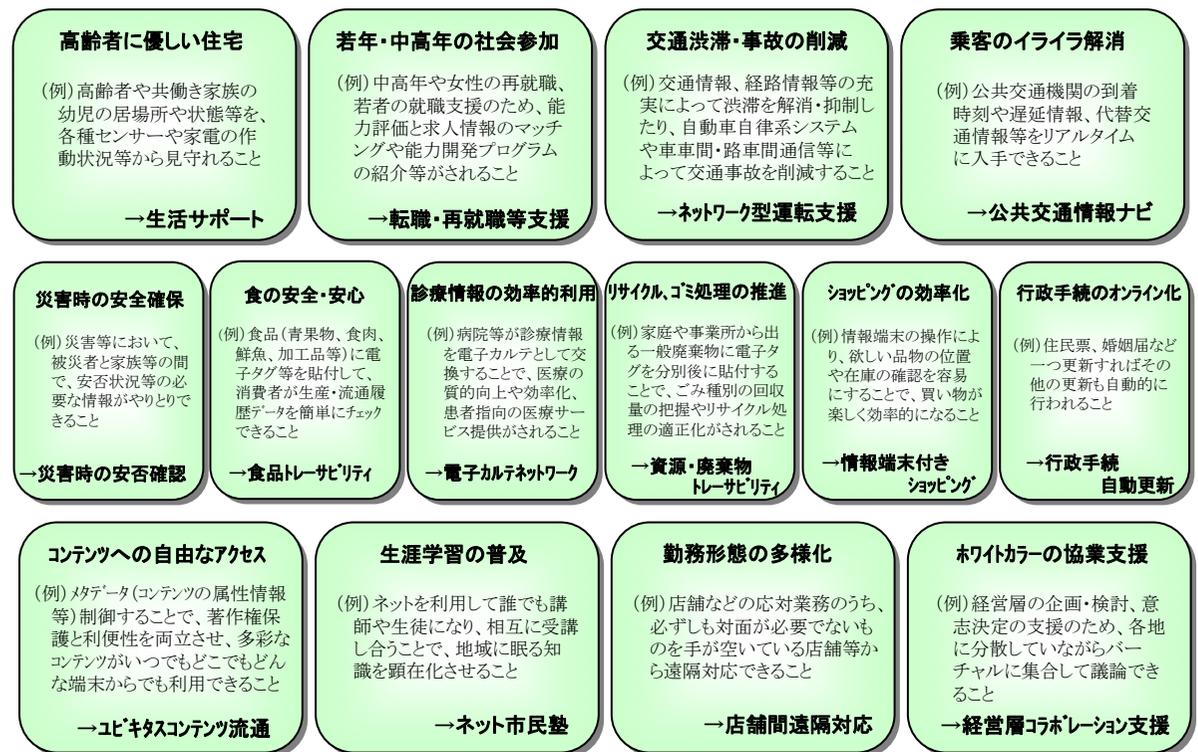
5 今後の日本の課題とユビキタスネットワークによる解決策

- ◆ 「ユビキタスネット社会の実現に向けた政策懇談会」では、2010年に向けて日本社会が取り組むべき重要テーマに関し生活者アンケートを実施。その結果では、「安全・安心な生活環境の実現」が7割弱と最も高い。
- ◆ また、重要テーマをさらに掘り下げた課題を調査する一方、生活者グループインタビュー等によりユビキタスネットワークによる解決策の例を整理。これらの解決策の例は、構想や実証実験段階にとどまるものから、先駆的導入段階に進んだものまで多様であるが、今後、ビジネスモデルの確立等の前提状況をクリアさせつつ、社会に普及させていくことが期待

図表① 2010年に向けた日本社会が取り組むべき重要テーマ
(複数回答)「非常に重要」と回答した人の割合 n=6,016



図表② 具体的な将来課題とユビキタスネットワークによる解決策の例



「ユビキタスネット社会の実現に向けた政策懇談会最終報告書」により作成